



2023年2月14日

各 位

会 社 名 テスホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山本 一樹
(コード：5074 東証プライム)
問合せ先 取締役管理本部長 南 龍郎
(TEL：06-6308-2794)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年2月14日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年8月15日に公表しました2023年6月期（2022年7月1日～2023年6月30日）の連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 2023年6月期の連結業績予想数値の修正（2022年7月1日～2023年6月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	31,800	4,900	4,000	2,500	71.20
今回修正予想（B）	33,400	5,400	4,600	2,900	82.59
増減額（B－A）	1,600	500	600	400	—
増減率（％）	5.0	10.2	15.0	16.0	—
（参考）前期実績 （2022年6月期）	34,945	5,146	4,654	2,695	77.19

2. 修正の理由

エンジニアリング事業の開発型EPCにおいて、前回予想発表時に見込んでいた開発プロセスが進行している案件の権利等の譲渡に伴う売上計上が翌期以降に延期することになった一方で、エネルギーサプライ事業において、本日公表の「棚卸資産の売却に関するお知らせ」に記載のとおり、自社で保有する再生可能エネルギー発電所9件の売却（棚卸資産の売却）による売上を計上することになりました。これらに加え、エンジニアリング事業において、受託型EPCが顧客企業におけるエネルギーの脱炭素化への取り組みニーズ等から再エネ・省エネ共に好調に推移する見込みであることや、エネルギーサプライ事業において、前回予想発表時よりも福岡みやこメガソーラーのEPCの工期が短縮になったことに伴う売電収入相当額の開発報酬の増額を見込んでいること及び、電気の小売供給における既存の需要家への供給単価の引き上げ等による収益改善施策の実施効果を考慮したことから、売上高が前回発表予想を上回る見込みとなりました。

なお、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前述の売上高の状況を踏まえ、前回発表予想の各数値をそれぞれ修正しております。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上